

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で4,900cells/ml、シャットネラ属が最高で137cells/ml、ヘテロシグマ・アカシオが最高で4cells/ml確認されました。

カレニア・ミキモトイは光松、大鹿、水試小割前で被害が想定される細胞密度になっています。

シャットネラ属は全ての観測点で被害が想定される細胞密度になっています。

慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	ヘテロシグマ・アカシオ	珪藻類
中学校前	0m	0	0	4	1,850
	2m	2	44	0	800
	5m	43	63	0	600
目ノクソ	0m	0	0	0	220
	2m	4	40	0	1,200
	5m	39	137	0	400
光松	0m	54	5	1	1,100
	2m	6	5	0	1,850
	5m	460	53	0	900
大鹿	0m	1	2	1	1,450
	2m	4,900	130	0	1,250
	5m	650	90	0	1,100
水試小割前	0m	0	0	0	950
	2m	500	3	0	800
	5m	490	10	0	250



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ:
数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属:
10～100cells/ml(魚類のへい死)
- ・ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000～50,000cells/ml(魚類のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>